

特集1

自分の病院に合った 持続できるクリニカルパスの作り方

クリニカルパスに診療報酬がつき、「やらねば!」と思う病院も多いことでしょう。次号特集では、クリニカルパスについて全体的な理解ができる解説を伊藤弘人氏（国立精神・神経センター）にお願いしました。また、優れた特徴をもつ病院のパスを紹介し、読者の病院に合った、持続できるクリニカルパスの作り方を紹介します。

クリニカルパスをめぐる政策的な急展開と、病院での対応◎伊藤弘人
優れた特徴をもつ病院のクリニカルパスを紹介

①牧病院 ②桶狭間病院藤田こころ医療センター ③峡西病院 ④土佐病院

長期入院（重度慢性期）のパス◎堀口寿広

特集2

A子がWRAPを作ったら

◎藤田茂治（訪問看護ステーションみのり・看護師）

優秀さを自負していた看護師A子が、訪問看護で初めて味わう挫折。そんな時にWRAPに出会って……。A子の物語が始まります。

特別記事

「問題行動」⇒「チャンレンジング行動」
という理解がもたらすもの
てんかん患者のトランジション問題

◎谷口豪

特別記事

在宅なら、やっぱり立てておきましょう
「クライシスプラン」

◎原子英樹

新連載

浦河日赤病棟の精神科病床を0（ゼロ）にする決断。
超長期入院の患者さんをどうやって地域へ？

◎高田大志

編集後記

「WRAP式看護計画を用いた訪問看護の効果」の研究を掲載させていただきました。じつは私も昨年夏、WRAPを2日間にわたる研修で体験させていただいたのです。元気になるのかしら私、変わるのかしら私の人生♥とわくわくしながら臨んだのですが……。1日目はよかったんです。自分が大事にしている思いとか、元気であるためにやるべきことを確認していく作業なので。2日目になると、調子が落ちてきた時のことを扱い、原因別に対応プランを事細かに決めていくのですが、この調子が悪い時を見つめるのがまず苦痛。そのうえプランが見事なほど出てこなくて頭真っ白。いかに自分が乏しい対応プランで日常をぎりぎり回しているかが明白になってしまいました。ところが最後に「クライシスまでいっちゃった時」の状況確認および対応プランを出していくのですが、それが全く困ることなくいくらすらすらと出てきてグループの人を圧倒するほどに。「こんなひどいこともある、あんなひどいこともある」。そしてそれへの対応も出せる自分。これはなんなんでしょう、とファシリテーターに聞いたら、「クライシスばかり経験が豊富だってことですね」だって。あー……。 (石川)

* 予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第18巻第2号 2015年3月15日発行（隔月刊） 発行：（株）医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2015, Printed in Japan 販売部：☎03-3817-5659

「精神看護」編集室：☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当：石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン：高見清史 (view from above) 表紙写真：齋藤陽道 印刷・製本：（株）アイワード

1部定価：本体1,300円＋税 2015年年間購読料（送料弊社負担、年間6冊）：本体7,080円＋税（冊子版）／本体10,080円＋税（冊子＋電子版／個人）／本体11,160円＋税（冊子＋電子版／共有）／本体7,080円＋税（電子版／個人）／本体8,160円＋税（電子版／共有）

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能権を含む）は（株）医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】（社）出版者著作権管理機構 委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@copy.or.jp）の許諾を得てください。

*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。